



お祝いの式がはじまって、江持村の戸長（村長）が、一年半もかかってほりあげたその苦勞に対し、感謝のことは話をされました。あいさつが終わると、いっせいに拍手がわきおこり、いつまでもやみませんでした。

亀五郎は、天保十四年（一八四三年）、田村郡枋本村の農家の長男として生まれました。枋本村は、須賀川から小野新町に通ずる道にそって、山と山にはさまれた東西に細長い村です。亀五郎の家では、田畑が少なかつたので、秋の農作業がすむと、炭やきの仕事をしていました。